

流域治水プロジェクトの追加変更

令和4年3月15日
遠州流域治水協議会

菊川水系流域治水プロジェクト

令和4年3月15日
遠州流域治水協議会

菊川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～お茶香る心豊かなまちを水害から守る地域づくり～

- 令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、菊川水系においても、事前防災対策を進める必要がある。
- 流域面積が小さく、流域の約48%が水田・茶畑等として利用されている流域であり、河川整備に加え、防災ステーションの整備や水田貯留等の流域対策により、水害リスクの軽減を図る。
- これらの取り組みにより、国管理区間においては、戦後2番目の平成10年9月洪水を安全に流し、それを上回る戦後最大の昭和57年9月洪水と同規模の洪水に対して堤防からの越水を回避し、流域における浸水被害の軽減を図る。

■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・河道掘削、堤防整備、横断工作物(床止め、堰など)の改築
- ・堤防舗装工、護岸工、河道付け替え工
- ・水門整備
- ・水田貯留等
- ・森林・治山施設の整備
- ・公共用地等を活用した雨水貯留施設の検討
- ・砂防施設等の整備

■ 被害対象を減少させるための対策

- ・頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組を検討

■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・早期復旧に備えた対策(防災拠点の整備 等)
- ・堤防決壊時の緊急対策シミュレーションの実施
- ・水害リスク空白域の解消
- ・ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組
- ・要慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保
- ・国・県・市が連携したタイムラインの運用
- ・国・県による洪水ハザードマップの作成支援
- ・宅地建物取引業団体への水害リスク情報等の説明
- ・危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの設置
- ・洪水予測等のプッシュ型情報提供
- ・住民・教育機関等への防災・減災知識の普及啓発活動
- ・マイタイムラインの作成推進

農業事業者との調整状況
(掛川市：与惣川流域)



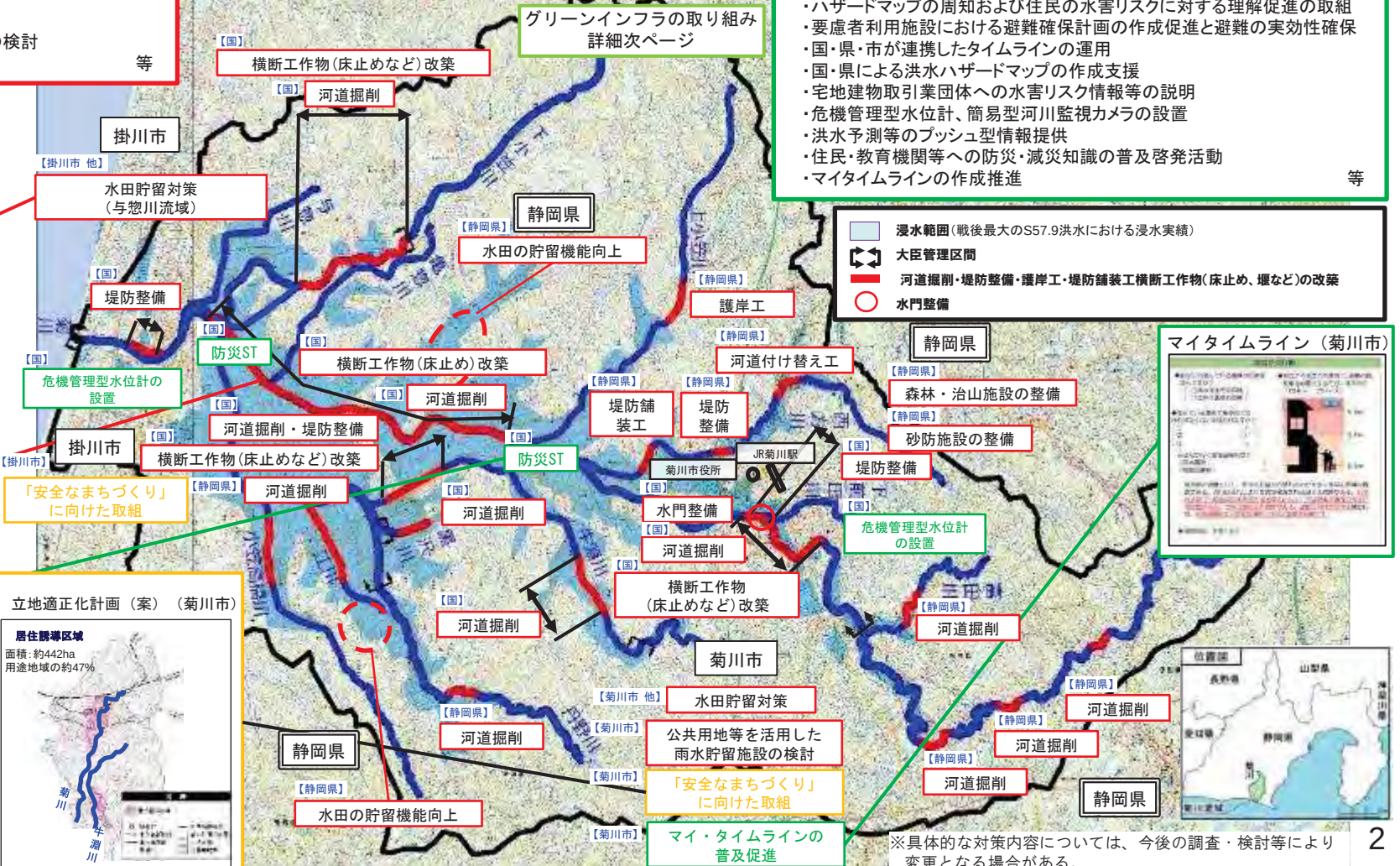
河道掘削 (浜松河川国道事務所)



防災ステーション
(浜松河川国道事務所)



立地適正化計画(案) (菊川市)



マイタイムライン (菊川市)



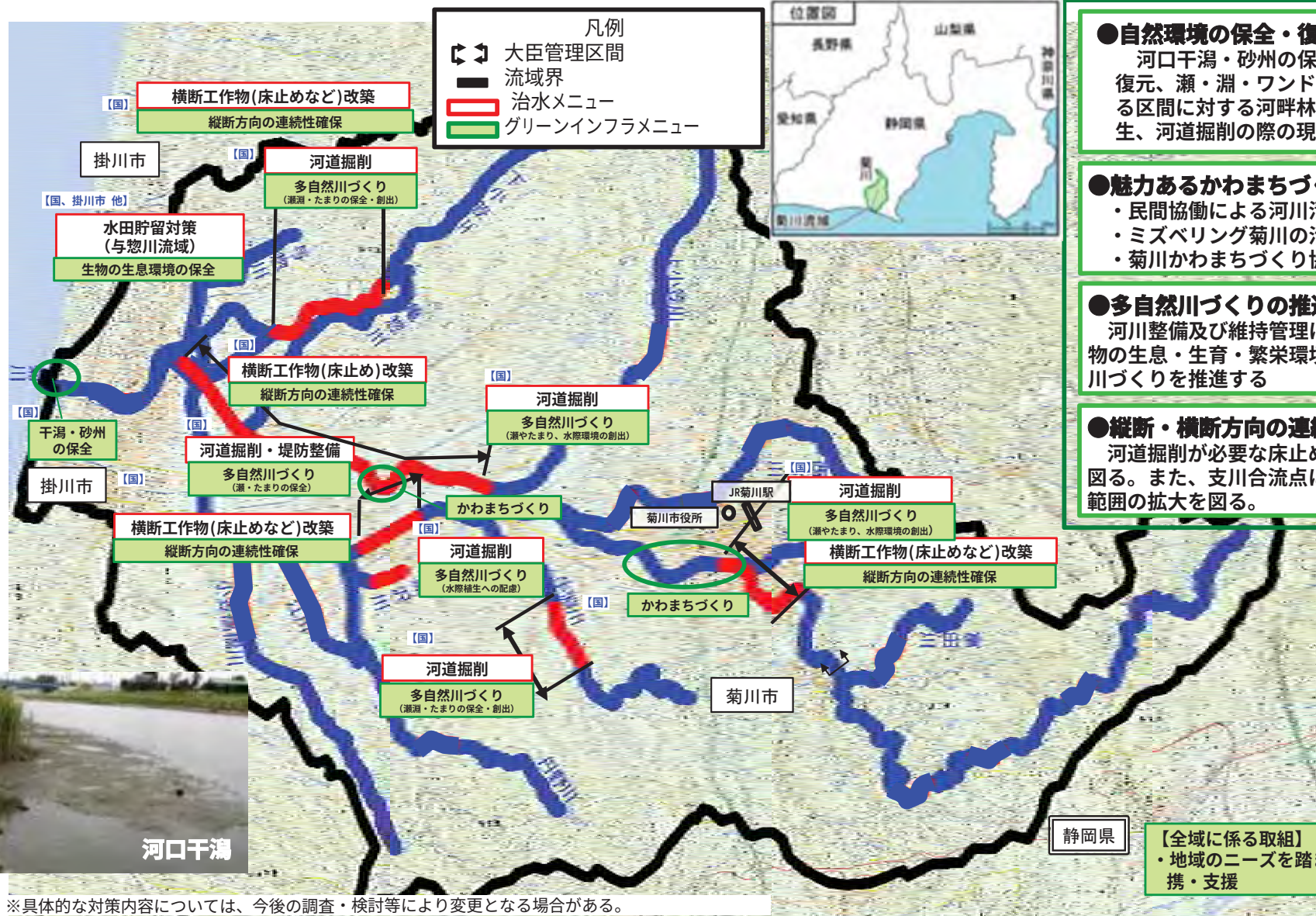
※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

菊川水系流域治水プロジェクト【グリーンインフラ】

～お茶香る心豊かなまちを水害から守る地域づくり～

●グリーンインフラの取り組み 『地域住民や関係機関等と連携した水辺空間の利用・創出』

- 菊川流域は、自然資源や丘陵地と茶畑ののどかな景観を有しており、カワラヒワをはじめ多くの野鳥が生息することで知られ、鳥獣保護区に指定されている。河口部干潟は餌場となり多くの水鳥の越冬地になっているなど、豊かな生物の生息場となっている。
- 水際の河岸整備にあたり、間隙を設けるなど河岸植生が形成されやすい水辺空間の創出や、地方公共団体や地域住民との連携の下、まちと水辺が融合した良好な空間の創出に向け、今後25年間(令和28年度)で多自然川づくりによる環境の創出など、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取り組みを推進する。



●自然環境の保全・復元などの多自然川づくり

河口干潟・砂州の保全、河畔林の保全、河岸植物の保全・復元、瀬・淵・ワンド・たまりの保全、河畔林が形成されている区間に対する河畔林の保全、水際域での現地植生の保全・再生、河道掘削の際の現存する瀬・淵・ワンド・たまりの保全

●魅力あるかわまちづくり

- ・民間協働による河川清掃の実施
- ・ミズベリング菊川の活動
- ・菊川かわまちづくり協議会の活動

●多自然川づくりの推進

河川整備及び維持管理にあたっては、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境及び多様な河川景観を保全する多自然川づくりを推進する

●縦断・横断方向の連続性の確保

河道掘削が必要な床止め等については改築し、連続性の確保を図る。また、支川合流点においても落差を解消し、魚類等の生息範囲の拡大を図る。



菊川桜マルシェでの出店の様子

【全域に係る取組】

- ・地域のニーズを踏まえた賑わいのある水辺空間創出への連携・支援

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

菊川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～お茶香る心豊かなまちを水害から守る地域づくり～

- 菊川では、過去に浸水被害が発生した流域を対象に、国、県、市町が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】 重大災害の発生を未然に防ぐため、菊川下流部、下小笠川中流部、西方川で河道掘削等を実施する。
また、掛川市において水田貯留を実施するとともに、掛川市、菊川市において立地適正化計画による防災指針の周知や実行。

【中期】 重大災害の発生を未然に防ぐため、菊川下流部、下小笠川下流部、牛淵川中流部で河道掘削等を実施する。

【中長期】 平成10年9月洪水(戦後2番目)と同規模の洪水を安全に流下させるため、菊川下流部、下小笠川下流部、牛淵川中流部で河道掘削を実施し、流域における浸水被害の軽減を図るとともに、避難場所や経路に関する情報の周知・住民の防災意識向上のための取組みを推進していく。

【事業費】

■河川対策

全体事業費：約166億円 ※1
対策内容：堤防整備、河道掘削
堰改築 等

※1： 直轄及び各圏域の河川整備計画の
残事業費を記載

【ロードマップ】

区分	対策内容	実施主体	工程			
			短期	中期	中長期	
氾濫をできるだけ 防ぐ・減らすための対策	重大災害の発生を未然に防ぐための河道掘削	浜松河川国道事務所	菊川・下小笠川下流部	菊川・下小笠川・牛淵川中流部	菊川・牛淵川上流部	
	下前田川の水門整備	浜松河川国道事務所	下前田川	下前田水門の整備が完了		
	河川改修の推進	静岡県	西方川、江川、上小笠川			
	河道掘削、樹木伐開による流下能力向上	静岡県	小笠高橋川、江川、丹野川、黒沢川、富田川、菊川			
	市管理河川の浚渫	菊川市	市管理河川			
	砂防施設等の整備	静岡県				
	堤防天端舗装による粘り強い堤防化	静岡県	西方川	先行して与惣川流域で水田貯留を試験的に実施(掛川市)		
	水田貯留等	静岡県、掛川市、菊川市、水田所有者・耕作者	整備開始			
	森林・治山施設の整備	静岡県	施設整備の検討 (菊川市)			
	公共用地等を活用した雨水貯留施設の検討	菊川市	継続的に水田貯留を 実施予定			
被害対象を減少 させるための対策	頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取り組み	掛川市、菊川市				
	水災害リスク空白域の解消 (土砂災害警戒区域LP測量による新規抽出)	静岡県				
被害の軽減、 早期復旧・復興のための対策	水災害リスク情報空白地帯の解消 (洪水浸水想定区域図の公表、土砂災害警戒区域標識等の設置)	静岡県				
	避難場所や経路に関する情報の周知	浜松河川国道事務所、静岡県 掛川市、菊川市				
	住民の防災意識向上のための取組み					
	各主体の避難行動や被害軽減行動を促すための情報共有方策やその伝え方	静岡県、菊川市	防災拠点の整備 (掛川市)			
	防災拠点の整備	浜松河川国道事務所 掛川市、菊川市				
	グリーンインフラ	多自然川づくり	浜松河川国道事務所	下内田防災ステーション開所 (菊川市)	菊川・下小笠川下流部	菊川・下小笠川・牛淵川中流部
	縦断方向の連続性の確保	浜松河川国道事務所	菊川・下小笠川下流部	菊川・下小笠川・牛淵川中流部	菊川・牛淵川上流部	防災拠点の運用 (菊川市・掛川市)

菊川、下小笠川、牛淵川の整備計画対応が完了

立地適正化計画に基づく防災指針
(掛川市、菊川市)

菊川、下小笠川、牛淵川の整備計画対応が完了

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

立地適正化計画に基づく防災指針(掛川市、菊川市)

防災拠点の運用(菊川市・掛川市)

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

菊川水系流域治水プロジェクト【事業効果(国直轄区間)の見える化】

～お茶香る心豊かなまちを水害から守る地域づくり～

(素案)

※本資料は調整中のものであり、今後変更が生じる可能性がある

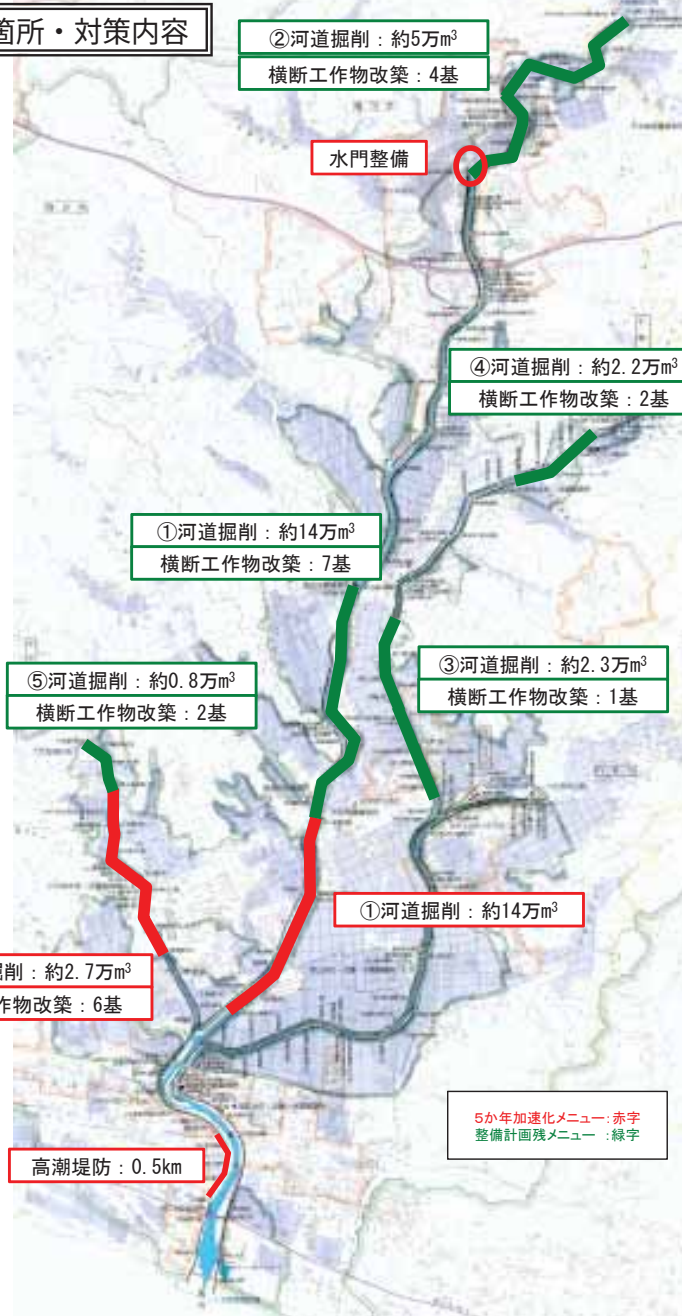
短期整備（5カ年加速化対策）効果：河川整備率 約71%→約76%

【短期整備完了時の進捗】

①菊川下流地区 河道掘削 33%→67%
⑤下小笠川地区 河道掘削 0%→77%
下小笠川地区 横断工作物改築 0%→75%

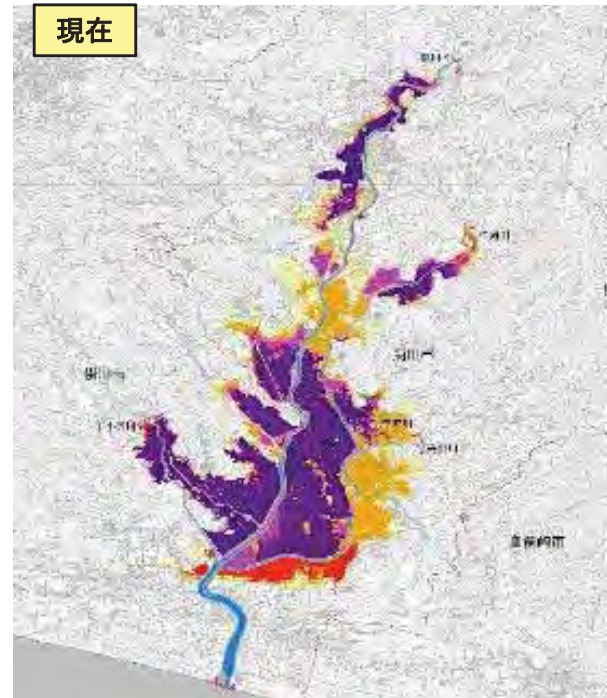
同所地区 高潮堤防整備 42%→100%
本所地区 水門・堤防整備 0%→100%

実施箇所・対策内容

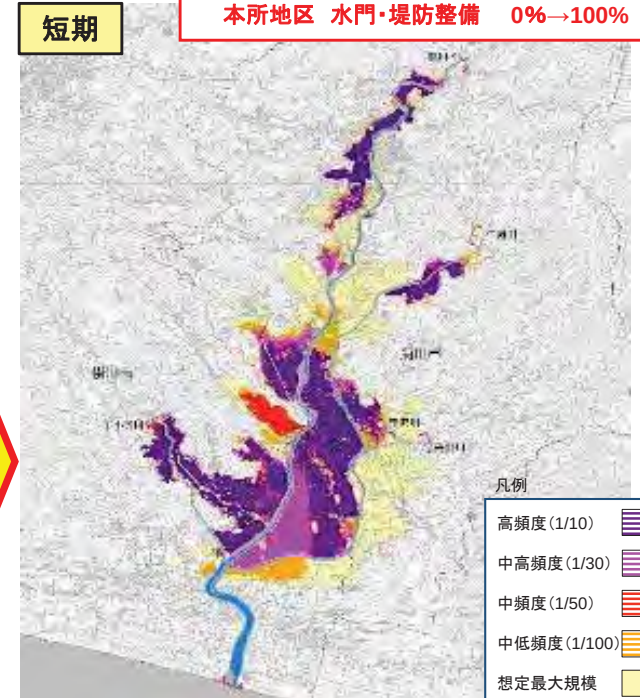


○ 菊川・下小笠川下流部、における河道掘削や堤防整備をR7まで、実施することにより、菊川市を中心とした市街地における浸水深・浸水面積の減少させることが可能。

現在



短期



区分	対策内容	区間	工程		
			短期(R3～R7年度)	中期(R8～R14年度)	中長期(R15～R27年度)
関連事業			1/10未満→1/10未満 ^(※1) (菊川本川:河口～8.0k)	1/10未満→1/10以上 ^(※1) (菊川本川:河口～8.0k)	1/10以上→1/50以上 ^(※1) (菊川本川:河口～8.0k)
氾濫をできるだけ 防ぐ・減らすための 対策	河道掘削	菊川下流地区	R3 67%		
		菊川上流地区			
		牛淵川中流地区			
		牛淵川上流地区			
		下小笠川地区	77%		
	横断工作物改築		76%		
	高潮堤防整備	同所地区	100%		
	水門・堤防整備	本所地区	100%		
	堤防整備				

・外水氾濫のみを想定したものであり、内水氾濫を考慮した場合には浸水範囲の拡大や浸水深の増大が生じる場合があります。また、この確率以下の洪水においても、侵食等により破堤する可能性があります。

・短期の図については、国直轄事業の実施による効果です。

・この安全度は、上図に記載されている確率を転記したものです。(※1)

・本資料は、調整中のものであり、今後事業進捗等により変更が生じる可能性があります。

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合があります。

菊川水系流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】

～お茶香る心豊かなまちを水害から守る地域づくり～

(素案)

※本資料は調整中のものであり、今後変更が生じる可能性がある



氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

田んぼ貯留実証実験



令和3年度の田んぼ貯留実証実験の様子
(掛川市 与惣川)

菊川流域では、水田が多い流域の特性を活かし、降雨時の流出抑制水対策として、水田貯留を推進している。令和3年度は、菊川の支川である与惣川流域において対象圃場への排水柵整備や堰板の設置を進め、実証実験を実施した。次年度以降も継続的に取り組む予定である。

＜実施主体＞浜松河川国道事務所、静岡県、掛川市、水田耕作者

被害対象を減少させるための対策

頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組み

居住誘導区域

面積：約442ha
用途地域の約47%



立地適正化計画（案）（菊川市）

令和5年度以降に立地適正化計画に基づく防災指針位置付け検討に着手していく予定である。

＜実施主体＞菊川市、掛川市

被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

出前講座等による地域の防災意識向上への取組み



掛川市の取組み

菊川市の取組み

掛川市では、令和3年度に出前講座や防災リーダー養成講座を実施した。

菊川市では、令和2年度末の市ハザードマップの更新を踏まえ、本年度、出前講座等で幅広い年代の市民に対し、自宅等の水害リスクを再認識すると同時に、マイ・タイムラインの作成方法等を指導し、水害への防災意識向上を図った。

＜実施主体＞掛川市、菊川市

天竜川（下流）水系流域治水プロジェクト

令和4年3月15日
遠州流域治水協議会

天竜川（下流）水系流域治水プロジェクト【位置図】

～暴れ天竜を地域全体で制する 金原明善翁の夢のつづき～

- 令和元年東日本台風では、戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、天竜川(下流)水系においても、事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、国管理区間においては、戦後最大規模の昭和58年9月洪水を上回る洪水を安全に流し、流域における浸水被害の軽減を図る。
- 天竜川下流域は日本経済を支える産業集積地域であるが扇状地地形となっており、広域に水害リスクがあるため、河川整備や被害対象を減少させるための対策、企業BCPの作成等のソフト対策を合わせて実施し浸水被害の軽減・早期復旧を図る。

位置図



■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

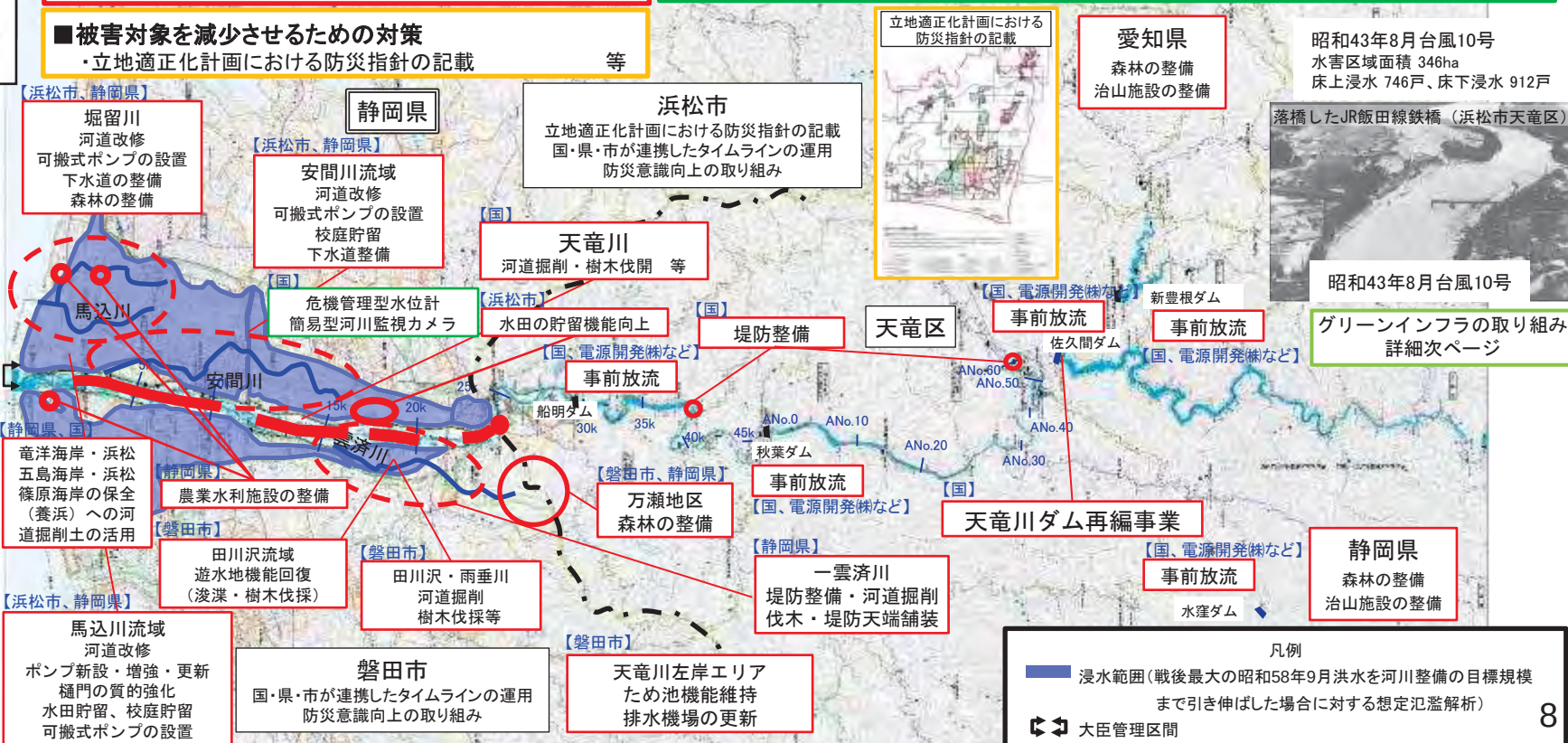
- ・河道掘削、樹木伐開、堤防整備 等
- ・天竜川ダム再編事業
- ・下水道等の排水施設、雨水貯留施設の整備
- ・逆流防止施設の整備、樋門の質的強化
- ・森林の整備、治山施設の整備
- ・砂防施設等の整備
- ・利水ダム等5ダムにおける事前放流の実施、体制構築（関係者：国、電源開発株など）

■被害の軽減・早期復旧・復興のための対策

- ・防災決壊時の緊急対応策シミュレーションの実施
- ・水害リスク空白域の解消
- ・ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組
- ・要配慮者利用施設管理者等の避難確保計画の作成、訓練の実施の促進
- ・国・県・市が連携したタイムラインの運用
- ・国・県による洪水ハザードマップの作成支援
- ・マイハザードマップの作成支援、土砂災害関連情報配信
- ・危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの設置
- ・土砂災害警戒区域等の指定・周知
- ・洪水予測等のプッシュ型情報提供
- ・企業BCPの作成推進
- ・住民・教育機関等への防災・減災知識の普及啓発活動
- ・マイタイムラインの作成推進
- 等

■被害対象を減少させるための対策

- ・立地適正化計画における防災指針の記載



天竜川（下流）水系流域治水プロジェクト【グリーンインフラ】

～暴れ天竜を地域全体で制する 金原明善翁の夢のつづき～

●グリーンインフラの取り組み 『歴史的な天竜川の情景を踏まえた自然環境の保全・再生』

- 天竜川下流域はアユやウツセミカジカ、カマキリ等が生息する瀬・淵を有し、支川合流部に多様な湿地環境が形成されている。また、河口部にはチワラスボ、イシカワシラウオ等が生息する干潟、メダカ等が生息・繁殖するワンドや湿地環境となっている。
- 天竜川の有する良好な景観やワンド等の水際湿地等の保全・再生を目指し、今後概ね20年間に、河道掘削等による砂礫河原の再生・保全など、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取り組みを推進する。



天竜川（下流）水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～暴れ天竜を地域全体で制する 金原明善翁の夢のつづき～

- 天竜川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】 天竜川下流で水位低下を目的とした河道掘削や樹木伐採等を実施。立地適正化計画における防災指針の記載や防災情報の発信を行い被害の軽減を図る。

【中期】 流下能力向上のための河川整備及び内水対策を実施。水田・校庭貯留等の流出抑制対策の検討を開始。

【中長期】 河道掘削、樹木伐採に加え雨水貯留施設等の流域対策を推進し、流域全体の安全度向上を図る。

【事業費】

■河川対策
全体事業費 約930億円 ※1
対策内容 河道掘削、樹木伐採等
天竜川ダム再編

■下水道対策
全体事業費 約5億円 ※2
対策内容 下水道等の排水施設整備等

※1：直轄及び各圏域の河川整備計画の残事業費を記載
※2：各市町における下水道事業計画の残事業費（汚水系含む）を記載

【ロードマップ】

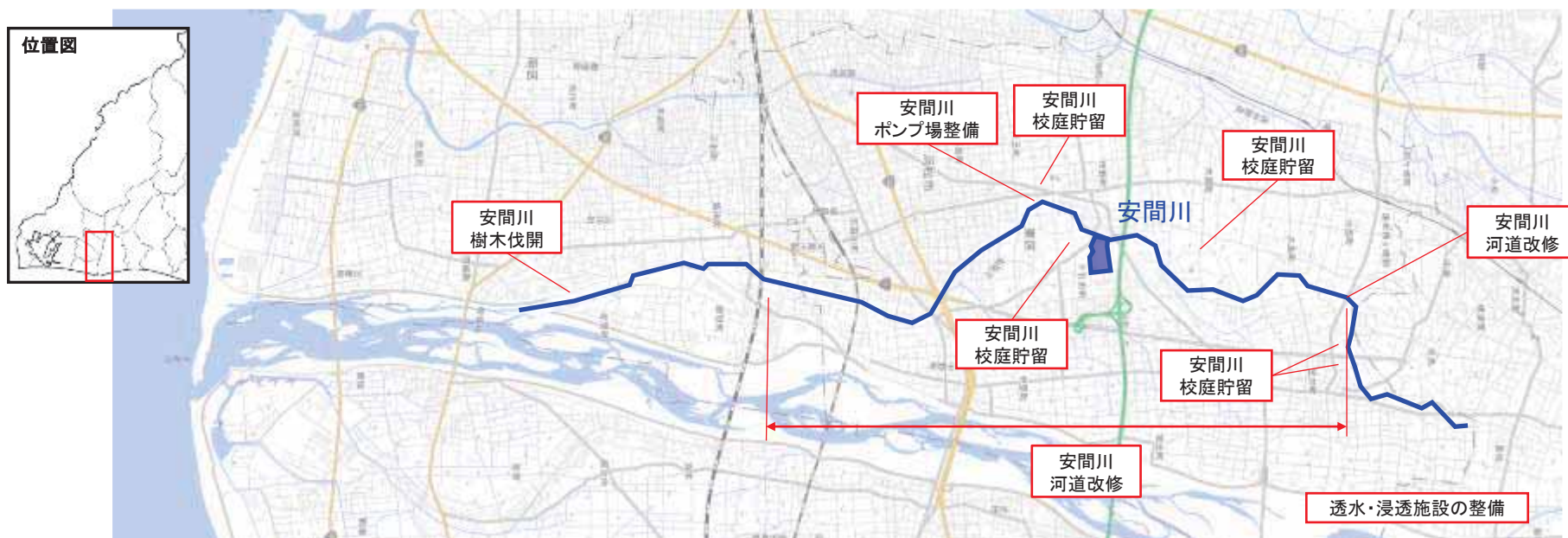
区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削、樹木伐採による流下能力の向上	浜松河川国道事務所 静岡県	下流部の河道掘削 (浜松河川国道事務所)	下流部・上流部の河道掘削 (浜松河川国道事務所)	
	天竜川ダム再編事業	浜松河川国道事務所			天竜川ダム再編事業完成
	堤防整備による治水安全度の向上	浜松河川国道事務所 静岡県	谷山地区堤防整備 (浜松河川国道事務所)	中部地区堤防整備 (浜松河川国道事務所)	
	ポンプ場、樋門等の施設や下水道整備による内水対策	浜松市、磐田市		対策の実施 (浜松市、磐田市)	
	フラップゲート等による逆流防止対策	浜松市			対策の実施 (浜松市)
	水田貯留、校庭貯留、雨水貯留施設等による流出抑制対策	浜松市、磐田市、 水田所有者・耕作者		検討の実施 (浜松市、磐田市)	
	砂防施設等の整備 森林の整備 治山施設の整備	静岡県、愛知県、浜松市、 磐田市、天竜森林管理署、 静岡水源林整備事務所			
	竜洋海岸・浜松五島海岸・浜松篠原海岸の保全(養浜)への河道掘削土の活用	浜松河川国道事務所 静岡県		立地適正化計画に基づく防災指針	河道掘削との連携による海岸養浜 (浜松河川国道事務所、静岡県)
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画における防災指針の記載(都市計画区域内)	浜松市・磐田市		水位、カメラ情報の提供 (浜松河川国道事務所、浜松市、磐田市)	防災意識の啓発活動等の継続実施
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難計画や防災意識向上のための取り組み	浜松河川国道事務所 愛知県、浜松市、磐田市			
グリーンインフラ	湿地環境の保全、砂礫河原の再生、多自然川づくりの推進、	浜松河川国道事務所 愛知県、浜松市、磐田市	下流部	下流部・上流部	
	河川空間整備(高水敷の整備) サイクリングロード				

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

天竜川(下流)水系流域治水プロジェクト【参考資料：浜松市域の対策】

<安間川ブロック>

- 安間川では、流域の浸水被害軽減に向け、県が河道掘削及び河道改修、市がポンプ場整備、県及び市が校庭等貯留施設整備を実施していく。
- ソフト対策としては、浜松市土木防災情報システムなどを活用し、水位、河川映像、通行規制情報等を発信するとともに、出前講座や避難訓練の実施、更には土のうステーションの運営を通じて、市民による自助・共助の活動を支援していく。



[凡例]

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	
被害対象を減少させるための対策	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	

開発許可制度の見直し(市街地縁辺集落制度の見直し)
立地適正化計画における防災指針の記載(都市計画区域内)

水災害リスク情報空白域の解消
ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組(出前講座、マイ・タイムライン、避難訓練等)
宅地建物取引業団体への水災害リスク情報等の説明
要慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保
地域が作成する避難計画の作成支援(緊急避難所の指定等)
通行規制情報の周知(浜松市防災マップ)
水位情報およびカメラ映像の提供(県:サイボスレーダー、浜松市:浜松市土木防災情報システム)
緊急時のポンプ排水(可搬式ポンプの設置)
土のうステーション運営(東区役所ほか)
水防団の強化(備蓄資材の拡充、水防倉庫の改修等)

天竜川(下流)水系流域治水プロジェクト【参考資料：浜松市域の対策】

＜安間川ブロック＞

天竜川(下流)水系流域治水プロジェクト__浜松市域ロードマップ

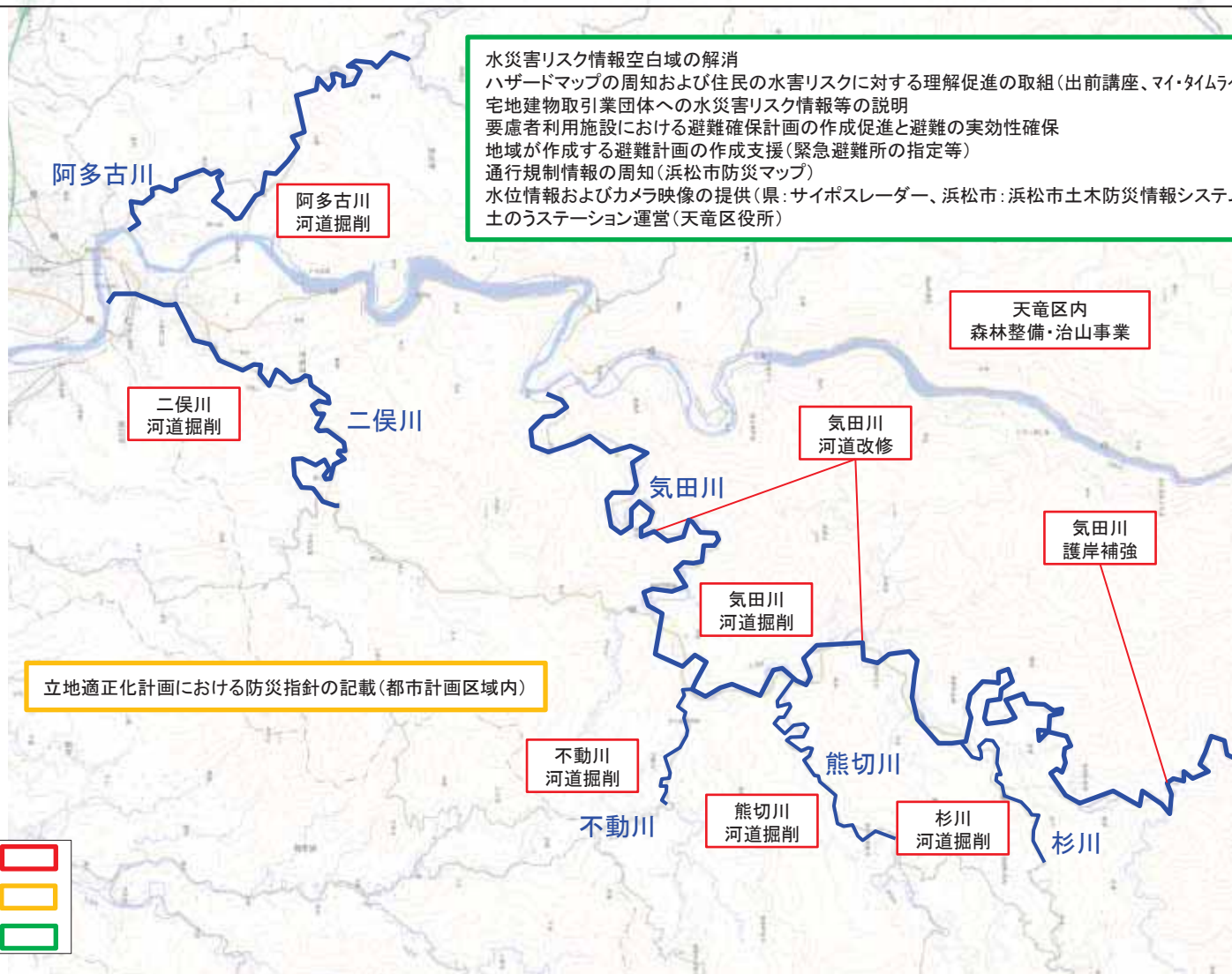
【安間川ブロック】

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	県管理河川の河道改修	静岡県			
	下水道施設の整備	浜松市			
	校庭等貯留施設の整備	静岡県 浜松市			
	浸透・透水性施設の整備	浜松市			
被害対象を減少させるための対策	開発許可制度の見直し（市街地縁辺集落制度の見直し）	浜松市			
	立地適正化計画における防災指針の記載（都市計画区域内）	浜松市			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水災害リスク情報空白域の解消	静岡県 浜松市			
	ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組（出前講座、マイ・タイムライン、避難訓練等）	静岡県 浜松市			
	宅地建物取引業団体への水災害リスク情報等の説明	静岡県			
	要慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保	浜松市			
	地域が作成する避難計画の作成支援（緊急避難所の指定等）	浜松市			
	通行規制情報の周知（浜松市防災マップ）	浜松市			
	水位情報およびカメラ映像の提供（県：サイポスレーダー、浜松市：浜松市土木防災情報システム）	静岡県 浜松市			
	緊急時のポンプ排水（可搬式ポンプの設置）	浜松市			
	土のうステーション運営（東区役所ほか）	浜松市			
	水防団の強化（備蓄資材の拡充、水防倉庫の改修等）	浜松市			

天竜川(下流)水系流域治水プロジェクト【参考資料：浜松市域の対策】

＜天竜区ブロック＞

- 天竜区内では、県管理河川流域の浸水被害軽減に向け、河道掘削及び河道改修を実施するとともに、森林整備・治山事業による浸透能向上を図っていく。
- ソフト対策としては、浜松市土木防災情報システムなどを活用し、水位、河川映像、通行規制情報等を発信するとともに、出前講座や避難訓練の実施、更には土のうステーションの運営を通じて、市民による自助・共助の活動を支援していく。



[凡例]

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	赤い枠
被害対象を減少させるための対策	黄色い枠
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	緑色の枠

天竜川(下流)水系流域治水プロジェクト【参考資料：浜松市域の対策】

<天竜区ブロック>

天竜川(下流)水系流域治水プロジェクト__浜松市域ロードマップ

【天竜区ブロック】

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	県管理河川の河道改修	静岡県			
	森林整備・治山事業による浸透能向上（天竜区内）	静岡県 浜松市			
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画における防災指針の記載（都市計画区域内）	浜松市			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水災害リスク情報空白域の解消	静岡県 浜松市			
	ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組（出前講座、マイ・タイムライン、避難訓練等）	静岡県 浜松市			
	宅地建物取引業団体への水災害リスク情報等の説明	静岡県			
	要慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保	浜松市			
	地域が作成する避難計画の作成支援（緊急避難所の指定等）	浜松市			
	通行規制情報の周知（浜松市防災マップ）	浜松市			
	水位情報およびカメラ映像の提供（県：サイポスレーダー、浜松市：浜松市土木防災情報システム）	静岡県 浜松市			
	土のうステーション運営（天竜区役所）	浜松市			

天竜川（下流）水系流域治水プロジェクト【参考資料：磐田市域の対策】

- 河川整備計画に基づき、河川改修を推進していく。
- 流下能力向上のために河道掘削、伐木等を実施していくとともに、遊水地の機能回復を図るため、浚渫等を実施する。
- 危機管理型ハード対策として、築堤部に決壊までの時間を引き延ばすための堤防天端舗装を実施していく。
- ため池4施設の機能を維持・回復するため、継続して補修を実施する。
- 森林整備を実施し、下流への流出の抑制などの森林の多面的な機能強化に取り組む。
- 市民の防災意識の向上を図るため、各種防災情報等の提供や、取り組みの支援を実施する。
- 水災害リスク情報空白地帯の解消として洪水浸水想定区域図を作成する。



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

区分	対策内容	実施主体	工期		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	堤防整備による治水安全度の向上	静岡県	一雲済川(県)		
	河道掘削、伐木等による流下能力向上	浜松河川国道事務所・静岡県・磐田市	天竜川(国)、一雲済川(県)、(準)田川沢・雨垂川(磐田市)		
	堤防天端舗装による危機管理型ハード対策	静岡県			
	ため池機能維持	磐田市	ため池4施設機能維持(磐田市)		
	田んぼ貯留池	磐田市	広報活動継続展開(全域)(磐田市)		
	遊水地機能回復	磐田市	(準)田川沢(上池・下池)(磐田市)		
	農用地の集約化	磐田市	継続実施(全域)(磐田市)		
	農業用施設の整備・補修	磐田市	継続実施(全域)(磐田市)		
	砂防施設等の整備	静岡県	砂防堰堤(上増沢)(R4年度～R6年度)(県)		
	森林整備・治山事業	静岡県・磐田市	万瀬地区間伐予定(R4年度～R8年度)(磐田市)		
被害対象を減少させるための対策	水災害リスク空白域の解消(土砂災害警戒区域 LP測量による新規抽出)	静岡県			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	各種防災情報の提供	磐田市	ハザードマップ全戸配布(磐田市)	継続実施(全域)(磐田市)	
	防災意識向上のための取り組み支援	市民・磐田市	継続実施(全域)(磐田市)		
	要配慮者利用施設の避難確保計画作成促進	静岡県・磐田市	避難確保計画作成促進・訓練実施(県・磐田市)		
	水災害リスク情報空白地帯の解消(洪水浸水想定区域図の公表、土砂災害警戒区域標識等の設置)	静岡県	洪水浸水想定区域図 2河川、土砂災害警戒区域標識 設置・更新(県)		
	宅地建物取引業団体への水災害リスク情報等の説明	静岡県・磐田市			
	サイボスレーダーによる水位の観測情報等の提供	静岡県			

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

※【短期】概ね5年 【中期】概ね10年目まで 【中長期】概ね11年目以降

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

天竜川（下流）水系流域治水プロジェクト【参考資料：愛知県の対策】

天竜川水系にある愛知県北設楽郡内の森林においては、**治山事業**により治山ダム等を設置し、土砂流出の抑制機能などの森林が持つ公益的機能の維持・増進に取り組むことで、中・下流域の氾濫防止を図っていく。

中でも東栄町、豊根村においては、治山事業により「水源森林再生対策事業」、「山地災害重点地域総合対策事業」を実施し、重点的な整備に取り組んでいく。



水源森林再生対策事業の事業概要

○事業地：愛知県北設楽郡豊根村上黒川他 地内

○事業実施予定期間：H26～R5

○事業区域：1,817ha

○計画事業費：931百万円

○整備内容

- ・治山ダム工：45個
- ・本数調整伐：125ha
- ・山腹工：1式

○事業地：愛知県北設楽郡豊根村坂宇場 地内

○事業実施予定期間：R2～R6

○事業区域：2,383ha

○計画事業費：407百万円

○整備内容

- ・治山ダム工：17個
- ・本数調整伐：89ha

山地災害重点地域総合対策事業の事業概要

○事業地：愛知県北設楽郡東部 地内

○事業実施予定期間：H30～R4

○事業区域：15,000ha

○計画事業費：735百万円

○整備内容

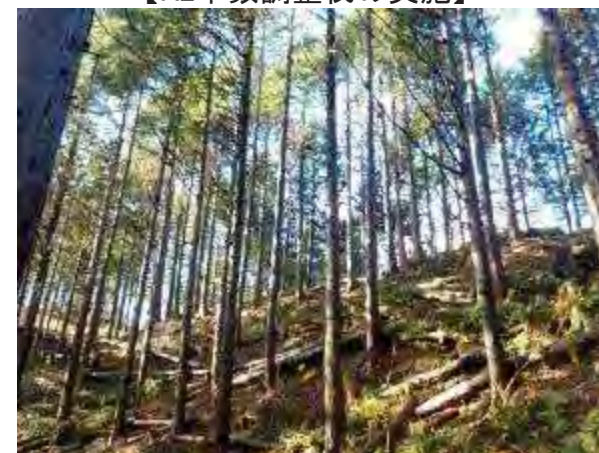
- ・治山ダム工：19個
- ・本数調整伐：8ha
- ・山腹工：1式
- ・航空レーザ計測データを活用した荒廃地の調査

山地災害重点地域総合対策事業 【R2ゼロ国 谷止工の設置】



北設楽郡東栄町 地内
溪流の勾配を緩和 下流域への土砂流出を抑止

水源森林再生対策事業 【R2本数調整伐の実施】



北設楽郡豊根村 地内
水源かん養機能の高い森林の維持・造成
伐採木を等高線に並べ表面土壌の流出を防止

天竜川（下流）水系流域治水プロジェクト【参考資料：愛知県の対策】

天竜川水系にある愛知県北設楽郡内の森林においては、**造林事業**や**あいち森と緑づくり事業**で、間伐等の森林整備を実施し、土砂流出を抑制する機能や雨水浸透機能などの森林が持つ公益的機能の維持・増進に取り組むことで、中・下流域の氾濫防止に資する。

【造林事業】

- ・木材が生産できるような森林を育てるとともに、森林の持つ公益的機能の維持・増進のため、植栽、下刈、除伐、間伐等の森林整備を行った森林所有者等に対し、補助を行っている。

【あいち森と緑づくり事業】

- ・森と緑の持つ様々な公益的機能の発揮のため、平成21年度から「あいち森と緑づくり税」を導入し、その税収等により、森林、里山林、都市の緑を整備・保全する事業。
- ・「山から街まで緑豊かな愛知」の実現をめざし、人工林の間伐を始め、様々な取り組みを進めている。

【間伐の効果】



間伐されていない人工林



間伐された人工林

適期に間伐等の森林整備を行うことで、林内が明るくなり、下草が生えるため、降雨によって生じる雨滴衝撃の影響から、森林の土壌やその機能を保護する効果があると言われている。

このように間伐等の森林整備によって、雨水浸透機能や土砂流出を抑制する機能などの森林の持つ公益的機能が維持・増進される。



天竜川（下流）水系流域治水プロジェクト【参考資料：森林区域の対策】

天竜川流域における国有林の森林整備・保全対策の実施状況等について

- 天竜川流域においては、国有林は約18,180haの森林が存在する。
- 森林については、その整備・保全を進めることにより、下流への土砂や流木の流出の抑制や、土壌が保持されることにより水が浸透しやすくなることによる保水機能の維持を通じて、流域治水プロジェクトの関係施策として連携していくこととしているところです。



国有林野施業実施計画

事業区分	天竜森林計画区 (R元年度～R5年度)		
治山	溪間工	8	箇所
	山腹工	3	箇所
	保安林整備	130	ha
森林整備	間伐	1,445	ha
	更新(造林)	338	ha
	保育(下刈)	757	ha
	(除伐)	61	ha
	林道(開設)	21,510	m
	(改良)	630	m



【森林整備:間伐】



【治山:溪間工(スリットダム)】



【森林整備:林道(整備)】



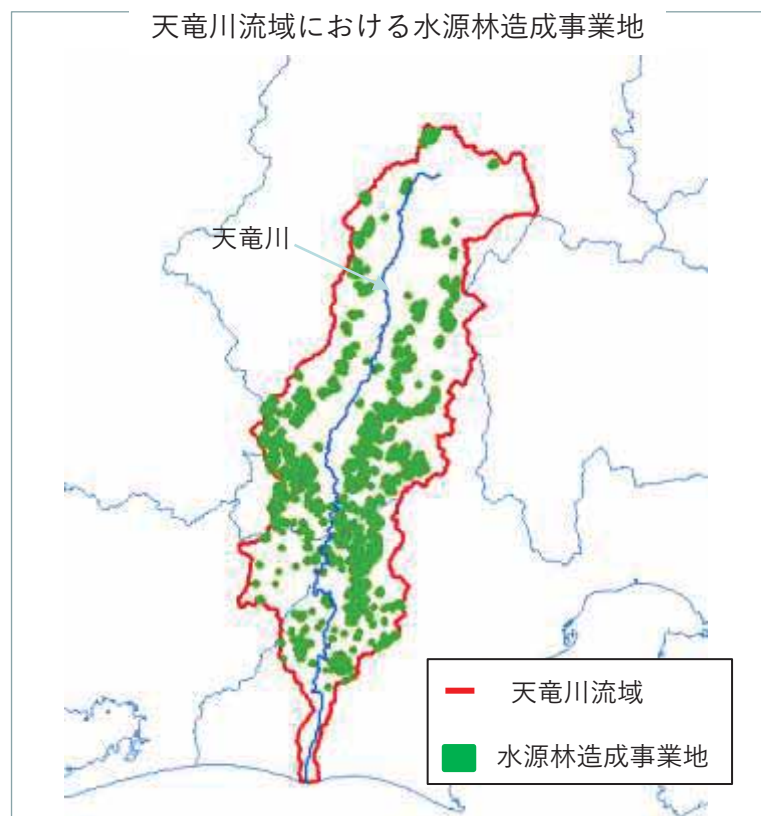
【治山:山腹工】

天竜川（下流）水系流域治水プロジェクト【参考資料：森林区域の対策】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策 水源林造成事業【位置図】

■ 対策内容:水源林造成事業による森林の整備・保全

- ・水源林造成事業は、奥地水源地域の民有保安林のうち、所有者の自助努力等によっては適正な整備が見込めない箇所において、針広混交林等の森林を整備することにより、森林の有する公益的機能の高度発揮を図る事業です。
- ・水源林造成事業地において除間伐等の森林整備を計画的に実施することで、樹木の成長や下層植生の繁茂を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制を図り、流域治水を強化促進します。
- ・天竜川流域における水源林造成事業地は、約700箇所（森林面積 約18千ha）であり、流域治水に資する除間伐等の森林整備を計画的に実施していきます。



水源林の整備



針交混交林



育成複層林

森林整備実施イメージ



間伐実施前



間伐実施後

天竜川（下流）水系流域治水プロジェクト【事業効果(国直轄区間)の見える化】

～暴れ天竜を地域全体で制する 金原明善翁の夢のつづき～

(素案)

※本資料は調整中のものであり、今後変更が生じる可能性がある

短期整備（5カ年加速化対策）効果：河川整備率 約87%→約89%

実施箇所・対策内容

④天竜川ダム
再編事業
(佐久間ダム)

③堤防整備
(中部地区)

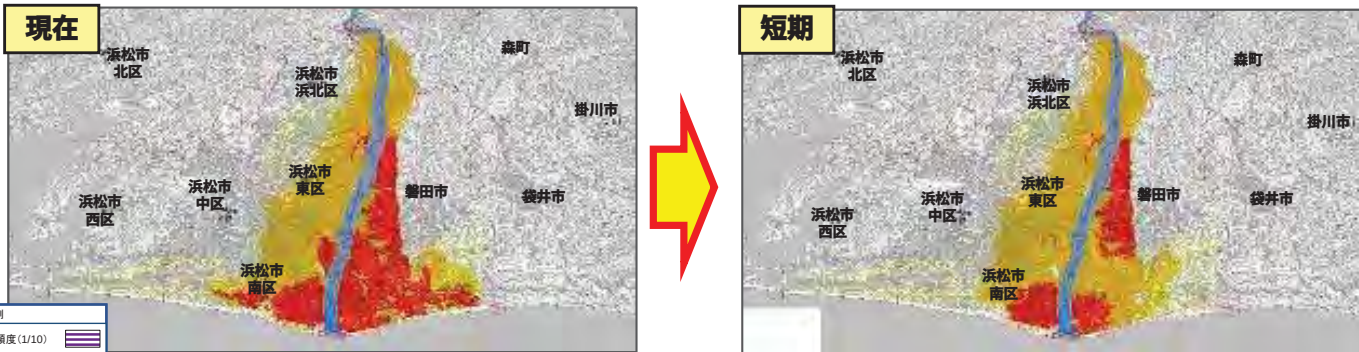
②堤防整備
(谷山地区)
L=0.45km

④扇頂部対策
L=1.0km

①河道掘削
V=350,000m³
樹木伐採
V=116,000m²

5か年加速化メニュー: 赤字
整備計画残メニュー: 緑字

- 天竜川下流部における河道掘削や堤防整備をR7まで実施することにより、浜松・磐田市街地における浸水深・浸水面積の減少させることが可能
- 引き続き河道整備を行うとともに、堤防整備を進めていく。



- ・外水氾濫のみを想定したものであり、内水氾濫を考慮した場合には浸水範囲の拡大や浸水深の増大が生じる場合があります。
- ・また、この確率以下の洪水においても、侵食等により破堤する可能性があります。
- ・短期の図については、国直轄事業の実施による効果です。
- ・この安全度は、上図に記載されている確率を転記したものです。(※1)
- ・本資料は、調整中のものであり、今後事業進捗等により変更が生じる可能性があります。

【短期整備完了時の進捗】
①鹿島下流 河道掘削
0%→14%
②谷山地区 堤防整備
0%→100%
③扇頂部対策
0%→100%

区分	対策内容	区間	工程		
			短期 (R3～R5年度) 1/30以上→1/30以上 (※1)	中期 (R6～R14年度) 1/30以上→1/30以上 (※1)	中長期 (R15～R20年度) 1/30以上→1/50以上 (※1)
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削・樹木伐採	鹿島下流	R3	14%	100%
	堤防整備	谷山地区		100%	
		中部地区			100%
	扇頂部対策	上野部、鹿島地区		100%	
	天竜川ダム再編事業	佐久間ダム			100%

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

天竜川水系流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】

～暴れ天竜を地域全体で制する 金原明善翁の夢のつづき～

(素案)

※本資料は調整中のものであり、今後変更が生じる可能性がある



氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

河道掘削・施設整備 森林の整備や治山施設の整備



逆流防止施設の整備
(浜松市)



河道掘削(静岡県)

河道掘削による流下能力の確保や、逆流防止設備の整備により氾濫の防止を図る。



森林の整備(林野庁)



治山施設の整備(愛知県)

天竜川流域において森林の整備として除間伐等の森林の整備や、治山施設の実施。

＜実施主体＞静岡県、愛知県、浜松市
林野庁天竜森林管理署、静岡水源林整備事務所

被害対象を減少させるための対策

立地適正化計画における 防災指針の記載



令和3年度に、立地適正化計画における防災指針の記載に向けた庁内組織の設置を行い、今後立地適正化計画における防災指針の検討を進めていく。

＜実施主体＞浜松市

被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

洪水浸水想定区域図や 洪水ハザードマップの作成



一雲済川
洪水浸水想定区域図(案)
(静岡県 R4. 3公表予定)



洪水ハザードマップ
(磐田市 R3.7作成)

天竜川流域において被害を軽減するために浸水想定区域図の公表及び、洪水ハザードマップを作成。

＜実施主体＞静岡県、磐田市

馬込川水系流域治水プロジェクト

令和4年3月15日
遠州流域治水協議会

静岡県

- 令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、馬込川水系においても、事前防災対策を進める必要がある。
- 馬込川流域では、流域の浸水被害軽減に向け、県が河道掘削などの河川改修及び津波対策水門整備、市がポンプ場整備、県及び市が雨水貯留浸透施設の整備などの対策を実施していく。ソフト対策としては、浜松市土木防災情報システムなどを活用し、水位情報、カメラ映像、通行規制情報等を発信するとともに、出前講座や避難訓練の実施、更には土のうステーションの運営を通じて、市民による自助・共助の活動を支援していく。
- ハード対策の取組により、県管理区間においては、年超過確率 1/10 規模の降雨による洪水に対して、床上浸水を発生させずに洪水を流すことに加え、平成27年9月7日から8日に発生した洪水と同規模の洪水に対して床上浸水が概ね解消されるよう整備を進め、ソフト対策と合わせて流域一体となった治水対策を進める。



具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

馬込川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ・効果】

静岡県

～市民協働で築く『未来へかがやく創造都市・浜松』の中心市街地を水害から守る流域治水対策～

- 馬込川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
 - 【短期】 県管理河川や市管理河川の河川改修、排水機能の強化、排水機場の質的強化、逆流防止施設の整備を進める。雨水貯留浸透施設の整備に着手するとともに、水田貯留の可能性を検証する。開発許可制度の見直し（市街地縁辺集落制度の見直し）、立地適正化計画に防災指針を記載する。
 - 【中期】 短期に引き続き、県管理河川や市管理河川の河川改修、排水機場の質的強化を進める。雨水貯留浸透施設の整備（校庭貯留、透水・浸透施設等）に着手する。
 - 【中長期】 中期に引き続き、県管理河川の河川改修、浸透・透水性施設の整備を進める。あわせて、被害軽減のための取組をあらゆる関係者と一体となって推進する。

■事業規模
・河川対策
全体事業費 約383億円 ※1
対策内容 河川改修 等

※1：馬込川水系河川整備計画の
残事業費を記載

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河川改修（河道掘削、堤防補強等）、水門整備	静岡県			
	河川改修（堤防補強等）	浜松市			
	排水機能の強化（ポンプ新設、増強、更新）	静岡県 浜松市			
	排水機場の質的強化（遠隔監視、制御）	静岡県 浜松市			
	逆流防止施設の整備（フラップゲート等）	浜松市			
	水田貯留（田んぼダム）可能性検証	浜松市			
	雨水貯留浸透施設の整備（校庭貯留等）	静岡県 浜松市			
	雨水貯留浸透施設の整備（透水・浸透施設等）	浜松市			
被害対象を減少させるための対策	開発許可制度の見直し（市街地縁辺集落制度の見直し）	浜松市			
	立地適正化計画における防災指針の記載（都市計画区域内）	浜松市			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水災害リスク情報空白域の解消	静岡県 浜松市			
	ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組（出前講座、マイ・タイムライン、避難訓練等）	静岡県 浜松市			
	宅地建物取引業団体への水災害リスク情報等の説明	静岡県			
	要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保	浜松市			
	地域が作成する避難計画の作成支援（緊急避難所の指定等）	浜松市			
	通行規制情報の周知（浜松市防災マップ）	浜松市			
	水位情報およびカメラ映像の提供（県：サイボスレーダー、浜松市：浜松市土木防災情報システム）	静岡県 浜松市			
	緊急時のポンプ排水（可搬式ポンプの設置）	浜松市			
	土のうステーション運営（南区役所ほか）	浜松市			
	水防団の強化（備蓄資材の拡充、水防倉庫の改修等）	浜松市			



※ 【短期】概ね5年 【中期】概ね10年目まで 【中長期】概ね11年目以降

都田川水系流域治水プロジェクト

令和4年3月15日
遠州流域治水協議会

都田川水系流域治水プロジェクト【ブロック図】

～くらしと水辺のつながりが残る浜名湖とここに流れ込む河川周辺の地域を水害から守る流域治水対策～

○ 令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、都田川水系においても、事前防災対策を進める必要がある。

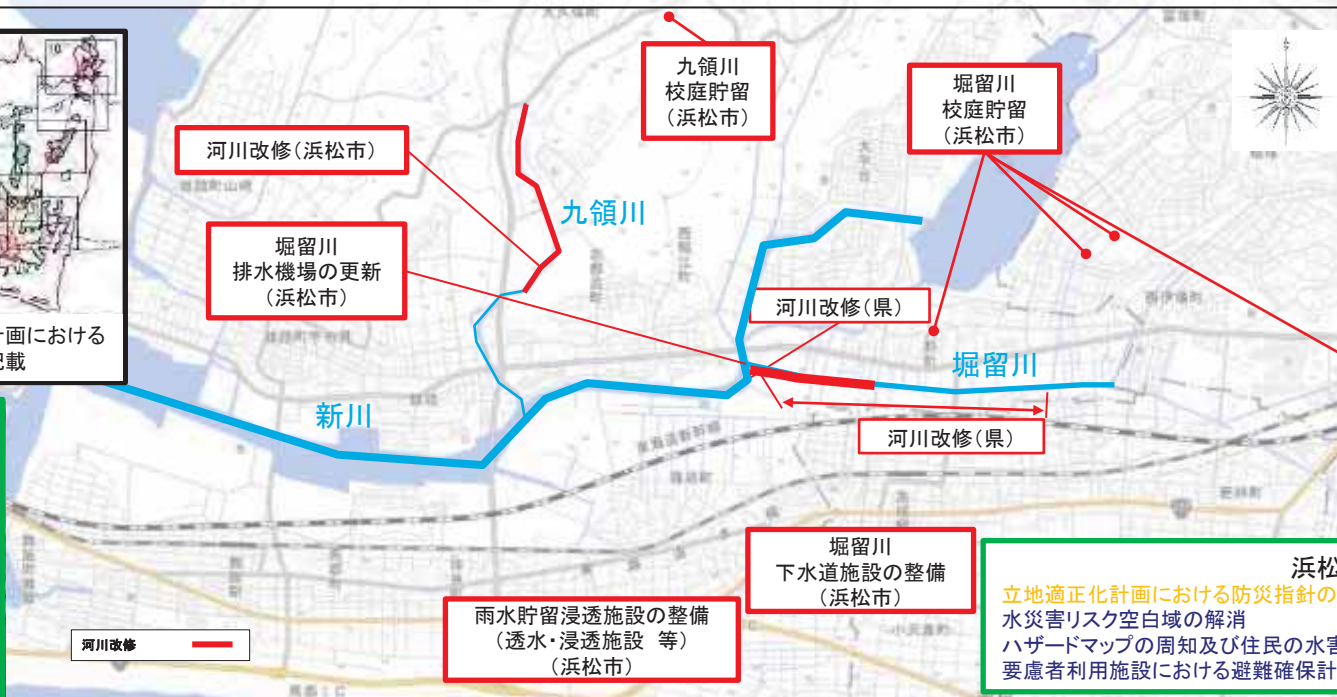


都田川水系流域治水プロジェクト<新川・堀留川ブロック>【位置図】

静岡県

～くらしと水辺のつながりが残る浜名湖とここに流れ込む河川周辺の地域を水害から守る流域治水対策～

- 堀留川流域では、流域の浸水被害軽減に向け、県が河川改修を行い、市が下水道施設の整備や雨水貯留浸透施設の整備などの対策を実施していく。
- 九領川流域では、流域の浸水被害軽減に向け、市が河川改修や雨水貯留浸透施設の整備などの対策を実施していく。
- ソフト対策としては、浜松市土木防災情報システムなどを活用し、水位情報、カメラ映像、通行規制情報等を発信するとともに、出前講座や避難訓練の実施、更には土のうステーションの運営を通じて、市民による自助・共助の活動を支援していく。
- ハード対策の取組により、堀留川では、年超過確率 1/10 規模の降雨による洪水に対して床上浸水の発生を防止し、九領川では、年超過確率 1/10 規模の降雨による洪水を安全に流下させるよう整備を進め、ソフト対策と合わせて流域一体となった治水対策を進める。



出前講座で水害リスク等の理解促進

●氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・河川改修（河道掘削、堤防整備 等）
- ・排水機場の更新
- ・下水道施設の整備
- ・雨水貯留浸透施設の整備（校庭貯留、透水・浸透施設 等）

●被害対象を減少させるための対策

- ・開発許可制度の見直し（市街地縁辺集落制度の見直し）
- ・立地適正化計画における防災指針の記載（都市計画区域内）

●被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・水災害リスク情報空白域の解消
- ・ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組（出前講座、マイ・タイムライン、避難訓練等）
- ・宅地建物取引業団体への水災害リスク情報等の説明
- ・要慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保
- ・地域が作成する避難計画の作成支援（緊急避難所の指定等）
- ・通行規制情報の周知（浜松市防災マップ）
- ・水位情報およびカメラ映像の提供（県：サイポスレーダー、浜松市：浜松市土木防災情報システム）
- ・緊急時のポンプ排水（可搬式ポンプの設置）
- ・土のうステーション運営（西区役所ほか）
- ・水防団の強化（備蓄資材の拡充、水防倉庫の改修等）

等

浜松市
立地適正化計画における防災指針の記載（都市計画区域内）
水災害リスク空白域の解消
ハザードマップの周知及び住民の水害リスクに対する理解促進の取組
要慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保

具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

都田川水系流域治水プロジェクト<新川・堀留川ブロック> 【ロードマップ・効果】

静岡県

～くらしと水辺のつながりが残る浜名湖とここに流れ込む河川周辺の地域を水害から守る流域治水対策～

- 新川・堀留川流域では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
 - 【短期】 県管理河川や市管理河川の河川改修、排水機場の更新を進める。
下水道施設の整備、雨水貯留浸透施設の整備に着手する。
開発許可制度の見直し（市街地縁辺集落制度の見直し）、立地適正化計画に防災指針を記載する。
 - 【中期】 短期に引き続き、県管理河川や市管理河川の河川改修を進めるとともに、下水道施設、雨水貯留浸透施設の整備（浸透・透水性施設）に着手する。
 - 【中長期】 中期に引き続き、県管理河川や準用河川の河川改修、下水道施設の整備、雨水貯留浸透施設の整備（浸透・透水性施設）を進める。
あわせて、被害軽減のための取組をあらゆる関係者と一体となって推進する。

■事業規模

河川対策

全体事業費 約110億円 ※1
対策内容 河川改修等

※1：都田川水系河川整備計画のうち
堀留川の残事業費を記載

都田川水系流域治水プロジェクト【新川・堀留川ブロック】			工程		
区分	対策内容	実施主体	短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河川改修（河道掘削、堤防補強 等）	静岡県 浜松市	■	■	■
	排水機場の更新	浜松市	■	■	■
	下水道施設の整備	浜松市		■	■
	雨水貯留浸透施設の整備（校庭貯留等）	浜松市	■	■	■
	雨水貯留浸透施設の整備（透水・浸透施設等）	浜松市		■	■
被害対象を減少させるための対策	開発許可制度の見直し（市街地縁辺集落制度の見直し）	浜松市	■		
	立地適正化計画における防災指針の記載（都市計画区域内）	浜松市	■		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水災害リスク情報空白域の解消	静岡県 浜松市	■		
	ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組（出前講座、マイ・タイムライン、避難訓練等）	静岡県 浜松市	■	■	■
	宅地建物取引業団体への水災害リスク情報等の説明	静岡県	■	■	■
	要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保	浜松市	■	■	■
	地域が作成する避難計画の作成支援（緊急避難所の指定等）	浜松市	■	■	■
	通行規制情報の周知（浜松市防災マップ）	浜松市	■	■	■
	水位情報およびカメラ映像の提供（県：サイボスレーダー、浜松市：浜松市土木防災情報システム）	静岡県 浜松市	■	■	■
	緊急時のポンプ排水（可搬式ポンプの設置）	浜松市	■	■	■
	土のうステーション運営（西区役所ほか）	浜松市	■	■	■
	水防団の強化（備蓄資材の拡充、水防倉庫の改修等）	浜松市		■	■

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進

※【短期】概ね5年【中期】概ね10年目まで【中長期】概ね11年目以降

都田川水系流域治水プロジェクト<都田川・釣橋川ブロック>【位置図】

静岡県

～くらしと水辺のつながりが残る浜名湖とここに流れ込む河川周辺の地域を水害から守る流域治水対策～

- 都田川及び釣橋川流域では、流域の浸水被害軽減に向け、県が河川改修を実施していく。
- また、治水協定に基づく都田川ダムの洪水調節機能の強化や、北区内の森林整備・治山事業による浸透能向上を図っていく。
- ソフト対策としては、浜松市土木防災情報システムなどを活用し、水位情報、カメラ映像、通行規制情報等を発信するとともに、出前講座や避難訓練の実施、更には土のうステーションの運営を通じて、市民による自助・共助の活動を支援していく。
- ハード対策の取組により、都田川、井伊谷川では、年超過確率 1/20 規模の降雨による洪水を安全に流下させるよう整備を進め、ソフト対策と合わせて流域一体となった治水対策を進める。



都田川水系流域治水プロジェクト<都田川・釣橋川ブロック> 【ロードマップ・効果】

静岡県

～くらしと水辺のつながりが残る浜名湖とここに流れ込む河川周辺の地域を水害から守る流域治水対策～

- 都田川・釣橋川流域では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
【短期】 県管理河川の河川改修、都田川ダムの治水活用、森林整備・治山事業による浸透能向上、砂防施設等の整備を進める。
立地適正化計画に防災指針を記載する。
【中期】 短期に引き続き、県管理河川の河川改修、都田川ダムの治水活用、森林整備・治山事業による浸透能向上を進める。
【中長期】 中期に引き続き、県管理河川の河川改修、都田川ダムの治水活用、森林整備・治山事業による浸透能向上を進める。
あわせて、被害軽減のための取組をあらゆる関係者と一体となって推進する。

■事業規模 ・河川対策

全体事業費 約4億円 ※1
対策内容 河川改修 等

※1：都田川水系河川整備計画のうち
都田川、井伊谷川、神宮寺川の
残事業費を記載

都田川水系流域治水プロジェクト【都田川・釣橋川ブロック】

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河川改修（河道掘削、堤防補強 等）	静岡県			
	治水協定に基づくダムの洪水調節機能の強化（事前放流等）	静岡県 浜松市			
	森林整備・治山事業	静岡県			
	砂防施設等の整備	静岡県			
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画における防災指針の記載（都市計画区域内）	浜松市			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水災害リスク情報空白域の解消	静岡県 浜松市			
	ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組（出前講座、マイ・タイムライン、避難訓練等）	静岡県 浜松市			
	宅地建物取引業団体への水災害リスク情報等の説明	静岡県			
	要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保	浜松市			
	地域が作成する避難計画の作成支援（緊急避難所の指定等）	浜松市			
	通行規制情報の周知（浜松市防災マップ）	浜松市			
	水位情報およびカメラ映像の提供（県：サイボスレーダー、浜松市：浜松市土木防災情報システム）	静岡県 浜松市			
	土のうステーション運営（北区役所ほか）	浜松市			
	水防団の強化（備蓄資材の拡充、水防倉庫の改修等）	浜松市			

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進

※ 【短期】概ね5年 【中期】概ね10年目まで 【中長期】概ね11年目以降

太田川水系流域治水プロジェクト

令和4年3月15日
遠州流域治水協議会

太田川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～ふるさとの心を伝える太田川水系の流域治水対策～

静岡県

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により 甚大な被害が発生したことを踏まえ、太田川水系においても、事前防災対策を進める必要がある。

○太田川流域は、市街化の進展や地形的特性などにより浸水被害の危険性が高いことから、河川改修や内水氾濫対策等を進めるとともに、太田川ダムによる事前放流や雨水貯留施設の整備、更にはハザードマップの周知など、あらゆる関係者の協働による総合的な浸水対策を推進する。

○これらの取組により、県管理区間においては、「太田川水系河川整備計画」に基づき、平成10年9月洪水と同規模(年超過確率1/10規模の降雨)の洪水が発生しても洪水を安全に流下できるよう、治水対策を加速化するとともに、市町と連携した総合的かつ多層的な水災害対策を推進する。

● 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・河川改修（河道掘削、伐木等）、遊水地整備、堤防天端舗装等
- ・治水協定に基づくダムの洪水調節機能の強化（事前放流等）
- ・内水氾濫対策の強化（雨水ポンプ場の整備等）
- ・雨水貯留施設の整備（校庭貯留・水田貯留）
- ・砂防施設等の整備
- ・森林整備・治山事業による流出抑制対策
- ・農業水利施設の整備（排水機場・調整池整備等）
- ・農業用ため池の耐震・豪雨対策 等

● 被害対象を減少させるための対策

- ・水災害リスク空白域の解消（土砂災害警戒区域 LP測量による新規抽出）
- ・立地適正化計画における防災指針の記載

● 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・水災害リスク空白域の解消（洪水浸水想定区域図の公表・ハザードマップの作成・土砂災害警戒区域標識等の設置）
- ・ハザードマップの周知及び住民の水害リスクに対する理解促進の取組（出前講座、マイ・タイムライン研修・避難訓練等）
- ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保
- ・宅地建物取引業団体への水災害リスク情報等の説明
- ・サイボスレーダー等による河川水位情報等の提供
- ・危機管理型水位計の設置
- ・土のうステーション運営
- ・水防団の強化（水防倉庫の改修等） 等

立地適正化計画における防災指針の記載(全市町)

河川改修(県)

遊水地整備(久野城址南)
(県・袋井市)

河川改修(袋井市)

堤防天端舗装・伐木(県)

校庭貯留(豊田北部小・豊田中他)
(磐田市)



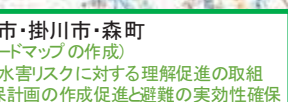
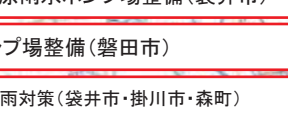
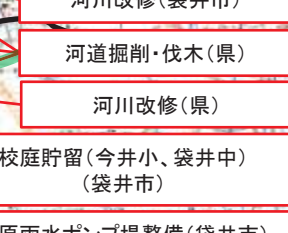
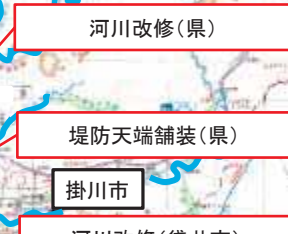
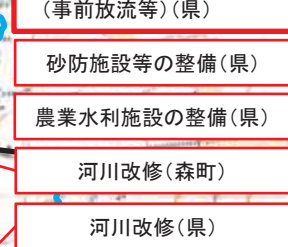
河道掘削・伐木(県)

ぼうけん川水門の機能維持(県)

河川改修(県)

水田貯留(袋井市・県)

校庭貯留の機能維持(県)



磐田市・袋井市・掛川市・森町
水災害リスク空白域の解消(ハザードマップの作成)
ハザードマップの周知及び住民の水害リスクに対する理解促進の取組
要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保

具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。32

太田川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ・効果】

～ふるさとの心を伝える太田川水系の流域治水対策～

静岡県

● 太田川流域では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県・市町が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】太田川をはじめとする県管理区間を対象に、河道掘削等の河川改修をより一層加速化し、流下能力の早期向上を図っていく。

また、危機管理型ハード対策として、築堤部を対象に、決壊までの時間を引き延ばすため、堤防天端舗装を実施していく。

【中期】短期中に見直しする「太田川水系河川整備計画」に基づいた河川改修を行うとともに、市町の内水氾濫対策と連携した流域全体の治水安全度の向上を図っていく。

【中長期】市町と連携したソフト対策による短期からの継続的な理解促進の取り組みにより、流域住民全体の防災意識の向上を図っていく。

事業規模

河川対策

全体事業費 約134億円※

対策内容 河道掘削等

※ 太田川水系河川整備計画の
残事業費を記載

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河川改修(河道掘削・伐木等)、遊水池整備、堤防天端舗装等	静岡県・袋井市・森町			
	治水協定に基づくダム洪水調節機能の強化(事前放流等)	静岡県			
	内水氾濫対策の強化(雨水ポンプ場の整備等)	袋井市・磐田市			
	雨水貯留施設の整備(校庭貯留・水田貯留)	袋井市・磐田市			
	砂防施設等の整備	静岡県			
	森林整備・治山事業による流出抑制対策	静岡県・掛川市 静岡水圏林整備事務所			
	農業水利施設の整備(排水機場・調整池整備等)	静岡県			
被害対象を減少させるための対策	農業用ため池の耐震・豪雨対策	袋井市・掛川市・森町			
	水災害リスク空白域の解消(土砂災害警戒区域 LP測量による新規抽出)	静岡県			
被害の軽減・早期復旧・復興のための対策	立地適正化計画における防災指針の記載	全市町			
	水災害リスク空白域の解消(洪水浸水想定区域図公表・ハザードマップの作成・土砂災害警戒区域 標識等の設置)	静岡県・全市町			
	ハザードマップの周知及び住民の水害リスクに対する理解促進の取組(出前講座・マイ・タイムライン研修・避難訓練等)	静岡県・全市町			
	要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保	全市町			
	宅地建物取引業団体への水災害リスク情報の提供	静岡県・全市町			
	サイボポスリーダー等による河川水位情報等の提供	静岡県・袋井市・磐田市・掛川市			
	危機管理型水位計の設置	静岡県			
	土のうステーション運営	袋井市・磐田市・掛川市			
	水防団の強化(水防倉庫の改修等)	袋井市			



※【短期】概ね5年 【中期】概ね10年目まで 【中長期】概ね11年目以降

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。